

# 明和児童クラブだより

第3号

2022年6月6日 発行

(文責) 鷲頭

## 一輪車が大人気です

児童が、一輪車を使い始めてから、およそ二週間になりますが、一輪車が大人気です。一輪車の使用時には、常時一人以上の支援員が、一輪車の練習場所でサポートし、安全を確保できるような体制をとっていますので、外遊びを支援する支援員の数が整わない場合には、一輪車は使わないことにしています。児童は毎日「今日は一輪車はできるかな」と心待ちにしているようです。児童も、だいぶ慣れてきたようで、これからも安全第一に、サポートを充実していけたらと思います。



## 設備改修計画について

幼稚園の体育館が老朽化しているため、学校法人平方学園では、建物の立替えを計画しています。

現時点では、体育館を取り壊したあとに、幼稚園の遊戯室と児童クラブの保育室（3部屋）及び事務室が一体となった建物を新築する方向で検討しているところです。今年度中に工事を完了し、来年度からは新しい建物で児童クラブがスタートできればと検討を進めていますが、詳細につきましては、決まりしだいお知らせします。

## 6月の主な予定

6月15日（水）おそうじの日

※ロッカーの掃除などをします。

6月22日（水）誕生日会（6月生まれの児童）

※児童の出欠状況によっては期日の変更があります

6月24日（金）避難訓練（対地震） ※雨天の場合は延期  
(その他)



- ・「夏休みの利用案内」の配付・・・6月第3～4週の予定  
※昨年の宅配弁当が不評だったので、宅配弁当業者を変える方向で、現在新しい業者と交渉しているところです。
- ・来年度の意向調査を依頼・・・6月第5週の予定  
※新しい様式で調査を依頼させていただく予定です。

「子育てのあれこれ」のコーナー(裏面)について 今年度も、「子育てに関すること」について、情報を提供しながら保護者の皆様方と、いっしょに考えさせていただききっかけになればと、設けさせていただいているコーナーです。

子育てについては、様々な学説や意見等があります。しかし、TV番組や講演会、書籍などでは、科学的な根拠に基づかない主観的な主張や、理論的な裏付けのない偏った主張なども最近をよく見聞します。私自身は、子育てもほぼ終わりになるのですが、今までの職業がら、未だに子育てについては勉強中です。しかし、勉強をしていく中で、「もう少し早く、この子育ての情報を知っていればよかったのに・・・」と思えることが多いのが現実です。

そこで、私とは違って、子育ての真っ最中である保護者の皆様方に、少しでも役に立つような情報を提供できたらと考え、このコーナーを設けている次第です。このコーナーでは、児童心理学や脳医学、精神医学等々、できる限り科学的な根拠に基づいた子育てに関する理論や考え方、事例等を、毎回という訳にはいきませんが、時々紹介させていただこうと思います。なお、以前のコーナーとの関連性に触れることがあるかも知れないので、コーナーのNO.は2018年度からの続き番号にしてあります。

# 子育てのあれこれ No.15

(文責=鷲頭)

今回は、「子育てのあれこれ No.1」で書かせていただいた「子育てのイメージ」について、図を用いて再度紹介

させていただきます。  
右の図は、児童心理学などをもとにした、子育てのイメージです。

個人差はありますが、一般的には、**1歳、3歳、6歳、10歳が子育てのポイントになる年齢**と言われており、その概要は以下の通りです。

## (1) 情緒(気持ち)の安定

- ・全ての基盤になり、主としては、**0～1歳**に母親などによる**スキンシップと語りかけ**により獲得
- ・年齢が高くなるにつれスキンシップより対話が有効に

## (2) 自主性・自律性の育成

- ・主としては**1～3歳**に育成されるが、**10歳**ぐらいまでは**なら可能**。

- ・いたずらや遊びの中での失敗体験が有効で、自己選択や自己決定の経験が必要
- ・**自己統制力をつけることが必要**で、その基本は、「がまんする力」と「がんばる力」を養うこと

## (3) 社会性の育成

- ・主としては**2～6歳**に育成されるが、**10歳**ぐらいまでは**育成は容易**であり、**小学校や学童はそのために最適**な場となる。青年期になっての育成も可能性はある。
- ・遊びの中で、けんかを通して対人関係を学ぶ。

**\*上の(1)～(3)が十分に育まれれば、子どもは「自己実現」に向けて、勉強でも運動でもがんばることができます。**

(参考文献) 「『心の基地』はおかあさん」「子どもの能力の見つけ方・伸ばし方」「親がすべきこと・してはいけないこと」(平井信義)、「頭のいい子より賢い子を育てるしつけ方」(星一郎)、「学校で出来ること出来ないこと」(外山滋比古)、「子どもの発達とつまずき」(高野清純)、「文化と感情の心理生態学」(荘厳舜哉) 他

**明和児童クラブは、子育てにおいて皆様とともに悩むパートナーでありたいと考えています！子育ては、思うようにいかないのが普通であると思っていますからです。**

**子育てやお子様のことで、困っていることがあったなら、いつでも、鷲頭が相談にのりますので、気軽にお声がけください！**

## 「子育てのあれこれ」のバックナンバーについて

「子育てのあれこれ」ですが、ホームページから、以前の児童クラブだよりをダウンロードすることで、閲覧が可能です。興味ある方は、ぜひ過去のものもご覧ください。「子育てのあれこれ」今まで紹介した内容は以下のとおりです。

- NO. 1 (2018年度3号) 子育てのイメージ、発達課題と年齢
- NO. 2 (2018年度4号) 「甘えとわがまま・甘やかし」について事例解説
- NO. 3 (2018年度5号) 「子どもが意欲的になるために」について、お年玉の事例から
- NO. 4 (2019年度2号) 「子どもとの対話」について、その具体例
- NO. 5 (2019年度3号) 「教えること」と「育てること」、夏休みの宿題の事例から
- NO. 6 (2019年度4号) 「ほめ方」について、テストで100点をとった子への対応事例
- NO. 7 (2019年度6号) 「叱り方」について、帰宅が遅れた子への対応事例
- NO. 8 (2020年度3号) サッカーをやめたいといった子どもへの言葉かけや対応の事例
- NO. 9 (2020年度4号) 「マズローの欲求階層説」についての解説
- NO. 10 (2020年度7号) 「よい学業成績につながる子育て」について
- NO. 11 (2020年度8号) がまんする力をどのように育てたらいいか
- NO. 12 (2021年度2号) 「メラビアンの法則」についての解説と事例
- NO. 13 (2021年度6号) 「課題が多い子どもの指導」についての事例
- NO. 14 (2021年度7号) 子どもへの言葉かけの事例(「三大禁句」との関連から)

【発達段階に沿った子育てのイメージ】

